

# プレイワールドフローリング タイプ W

## 《施工要領》

JAS 認証工場 JPIC-FL49

エコアシストシリーズ

品 名	プレイワールドフローリング タイプW
種 類	基材に合板使用（低ホルムアルデヒド）
施工方法	特殊張（脳天ビス留用）
寸 法	18x290x1800（無塗装品）

### 1. 運搬及び集積

- 生産工場よりコンテナもしくはトラックなどにより施工現場にむけて運搬する。
- 到着日及び時間等に付いては現場監督との打合せにより決定すること。
- 雨降り、雪などの天候の悪いときの搬入はなるべく避けること。
- 搬入は他作業者の作業の妨げにならないようにし、建築物に悪影響を与えないように作業を進めること。
- 集積場所についても現場監督と打合せにより場所を確保し集積する。
- 集積場所についてはフローリングに悪影響を与えないところ（漏水・熱・重量物の落下）に集積する。
- 搬入並びに集積については、必ず床工事責任者立会いとする。

### 2. 施工手順 ～（一社）日本フローリング工業会・フローリング張り標準書～より抜粋

#### ●工法概要

〈ビス留め工法〉

下張用床板を張った上に、接着剤を全面塗布し、隠し釘と仕上げ面よりのビスで張り込む工法とする。

#### ●副資材

##### (1) 接着剤

接着剤は JIS A5536（床仕上げ材用接着剤）に基づくウレタン樹脂系とする。ただし、特記事項がある時はそれによる。

接着剤のホルムアルデヒド放散量による区分は、特記による。特記がなければ、F☆☆☆☆とする。フローリングの被着体との接着性を考慮し種類を選択する。

※酢酸ビニールエマルジョン系は使用不可とする。

##### (2) 釘

釘または、フロア釘（スクリュー釘）、フローリング用ステープルのいずれかとする。

ただし、特記事項がある時はそれによる。

##### (3) ビス

ビス留めに用いるビスは、タッピングビスで、長さは板厚の2倍程度とする。

ただし、特記あるいはフローリング製造業者の指定があるときはそれによる。

#### ●床下地

鋼製床下地あるいは根太下地に、下張り用床板を張ったものとする。

## ●下張り

- (1) 下張り合板  
構造用合板、普通合板 I 類の JAS 規格合格品で厚さ 12mm 以上
- (2) 釘・ビス  
留め付け用釘の長さは、タッピングビス 25mm 以上、スクリー釘 38mm 以上とする。
- (3) 割り付け  
下張り合板の長手方向と根太または床パネルと直交方向に敷き並べる。  
継ぎ手は根太芯または床パネル芯とし、合わせ目は短手の芯で合わせる。  
いわゆる縦レンガ張りとする。
- (4) 留め付け  
タッピングビスの打ち込みは、根太間隔 300mm の場合 21 ヶ所、360mm の場合 18 ヶ所とする。  
注 1：ビス頭または釘頭が下地面より突起しないよう、下張り面に頭が沈み込むまで打ち込む。  
注 2：開口部や三方枠周等、躯体に直接張り込みする場合、床組みがある部分との縁を切ること。

## ●割り付け

貼り込みに先立ち割り付け等の準備を行う。木材の材色が偏らないように調整する。  
一般的には室内中央から両側に張り進める。(面積が狭い場合は片面から張り込んでも良い。)  
中央部にはセンター材(側面両雄さね加工)若しくは雇いざね(雌さね同士を接続する為の雄さねの役目を果たすもの)を用いる。

## ●張り込み

下張りに接着剤(m<sup>2</sup>当たり 300 g 以上)を全面に塗布し、隣接する板の短辺の継手が揃わないようにし、板を損傷しないように通りよく敷き並べて押さえ、雄さねの付け根から隠し釘留めとする。

## ●隠し釘留め

釘打ちは根太の種類に応じて下記とする。

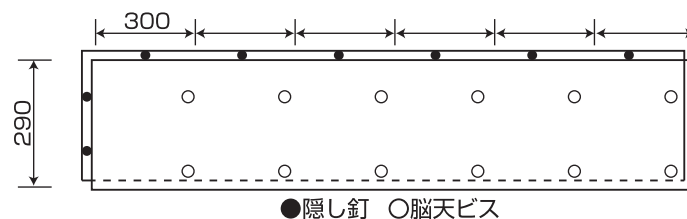
- 木根太床：根太上に根太ピッチに合わせて雄さねの付け根から 45° 角で打ち込む。
- 鋼製床下地組床工法：根太位置を避け 300mm ピッチで雄さねの付け根から 45° 角で下張り板に打ち込む。
- 鋼製床下地パネル工法：300mm 程度のピッチで雄さねの付け根から 45° 角で下張り板に打ち込む。

## ●ビス留め

接着剤硬化前にビス留め出来るように留意し、ビス留め用下穴を開けタッピングビスを用いてよく締め付ける。

留め位置は下図の通りフローリング幅 290mm に対し根太上 2 箇所。

ビス留め用下穴はφ 9 ~ 10mm、板厚の 1/2 以内の深さとする。



## ●木栓

ビス留め用下穴は木くず等をよく除去した後、接着剤を充填後木栓を打ち込むか、接着剤を塗布した木栓を打ち込む。

接着剤は酢酸ビニルエマルジョン系接着剤(木工用)を用いる。

## ●エキスパンション

壁際、敷居際、幅木等には適切な空隙を設けて、施工後の環境変化による床の伸縮に対するエキスパンションとする。

エキスパンションゴム、コーキング等を行う場合は指定による。

### 3. 養生

- 湿度の高い現場の場合、施工後にフローリングが湿気を吸収して伸びや突き上げを起こすことがあるので湿気がこもらないようにする。  
また、小石、金属片、脚立などによる塗装面への傷を避けるため、できる限り養生シートなどで塗装面を保護する。
- 施工用接着剤がフローリング表面についた場合は、固まる前に濡れた雑巾で拭き取る。(硬化すると取れなくなるため。)

### 4. お手入れ方法

- 日常のお手入れはから拭きとし、水拭きはしないで下さい。
- 汚れがひどい時は中性洗剤を含ませた雑巾を固く絞って拭き取り、その後で水で濡らした雑巾を固く絞って洗剤を拭き取ってください。  
また、フローリング表面を長時間水に濡らしたまま放置すると、変色・シミ・ひび割れの原因になるため速やかに拭き取ってください。
- 重量物（ピアノ等）をおく場合は、脚部に敷板等を敷き、重量を分散させてください。
- 移動式観覧席、移動式バスケットゴール等の移動時は予めコンパネ等を敷いて移動してください。  
また、設置後はそれらの脚部に敷板等を使用し重量を分散させてください。

### 5. 注意事項

- ワックス掛け厳禁 塗料の性能を損ない、支障を来す可能性があります。
- フローリングに過剰に水分がかからないように注意し、伸びや突き上げ・剥離の原因を防止してください。
- 美装の際は、ブラシマシン等はフローリング表面に傷をつける場合がありますので絶対に使用しないでください。
- 移動式観覧席、移動式バスケットゴール等の移動時の傷や荷重により歪みが発生することがあります。床下地の補強が必要な場合もあるので営業担当へお問い合わせください。  
また、これらの車輪はゴム製等軟らかいもののご使用をお勧めします。